

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス唐津教室					公表日	令和7年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	・スペースも広く、活動もできている。 ・適切である。 ・広く使用したい時は、移動できたり折りたためる机を使用している。	・体格が大きい子も増えてきているので、活動スペースを考えて使う必要がある。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	適切な配置で受け入れている。全員が資格者で配置している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・特性に応じ、視覚支援等を行っている。バリアフリーが必要な児童は在籍していない。 ・段差などなく行動でき、ワンフロアで見通しがよくなっている。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・清潔で心地よく過ごせる環境になっており、活動も子供たちに合わせた空間になっている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	2	・コントロールが効かなくなったり、一人の空間が欲しい子供たちに個別部屋、場所を提供している。 ・静養室があり、必要に応じて使用する事ができる。	・二人以上が不安定になった場合、部屋を分けている。安静室をより居心地よくしていこうと思っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	・業務改善を進めるために参画している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け、内容を業務内容に繋げるようにしている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・職員の意見等を把握する機会を設け、日々の業務内容に繋げている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	・外部評価を行い、結果を業務内容に繋げている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・職員の資質の向上を図る為、研修を受講する機会、開催する機会は確保されている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・アセスメントは個々の子供に対し、保護者のニーズや課題を分析し、計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・計画を作成する際に、職員との打ち合わせで計画内容を伝え、共通理解の下で利益を考慮した検討は行われている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・計画は職員間で共有され、計画に沿った支援は行われている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・子供の適応行動の状況など日々の行動観察などを確認している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・同じにならないよう工夫している。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別活動、集団活動は適宜組み合わせ計画を作成し、支援している。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・毎朝一日の流れや送迎等を確認し、支援を行っている。			

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・共有している。特筆すべき行動も日誌や提供内容記録に残し、次の日の朝、昼に周知を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・モニタリングの日付を見て、計画の見直しはできている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	・行っている。平日、そして祝祭日、土曜日、長期休暇を活用して支援を行っている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1	・情報共有と相互理解に努めている。 ・必要があれば情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	・情報共有している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	1		・十分ではない。定期的には行えていないことが現状。子どもプラスで紹介いただいているオンライン研修にもっと参加する。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	7	0	・毎週水曜日は、児童館へ行き、他の地域の児童との交流する機会を設けている	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・参加している	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・連絡ノートにて日頃子供たちの状況を伝えている。（口頭で伝える時もある）	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・保護者も児童も参加できるような研修を行うようにしている。チラシ等で周知している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	見学、契約で丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・モニタリングを通して、子供、保護者の意志の尊重、意向を確認する機会を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・計画書の内容は保護者へ説明し、同意をもらっている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	・悩みがあった場合は、その場で判断せず、職員間で共有して、会議を行い支援につなげている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	・きょうだい同士はイベントへの参加をする事で機会を設けている。	・保護者同士での交流はできていないので検討中
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・迅速に対応できている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月保護者向けのお便りを配布している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・鍵付きの書庫で十分に管理している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・情報伝達はしっかり心がけている。	

	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・感染症などの関係でまだ行われていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	BCPを作成し、研修、訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・事前に確認し、書面に残し対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画についての担当者が研修や訓練の予定をたてて、実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・HPで掲載して、保護者へも配布している	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハットは記録を残し、ミーティングを必ず行うようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・法人全体で委員会を設置して、定期的に研修や会議の場を設けている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・記載している。モニタリング、送迎時も含め、様子や対応も保護者の方に説明する。職員間でも報連相している。	